



気象観測機器「sPOTEKA」モックアップ

※1 COP(Conference of the Parties)：1992年に採択された気候変動に関する国際連合枠組条約に基づき、同条約締約国により1995年から毎年開催

「COP26」英グラスゴーに出展

2021年10月31日から11月12日に英グラスゴーで開催される「第26回気候変動枠組条約締約国会議(COP26)※1」の「ジャパン・パビリオン」に住友林業株式会社・株式会社IHIと共同で出展しました。

住友林業とIHIは、今年6月「森林管理コンサルティング事業」と「自然資本の価値を最大化する持続可能なビジネスの開発」に向け業務提携しました。その取り組みに、当社は気象情報や泥炭地の地下水位情報などを、地上で計測できる泥炭地情報観測機器を開発・提供する役割をもって参画しており、気象観測機器「sPOTEKA」を展示しました。ブース展示では、住友林業が構築した熱帯泥炭地管理モデルとIHIの衛星データ利用技術や気象観測・予測に適用される当社のセンシング技術を組み合わせ、そこから生まれる技術やサービスを世界に展開していく取り組みが模型とパネルで紹介されます。

明星電気は住友林業とIHIの協業への参画を通じ、持続可能なカーボンニュートラル社会の実現に貢献していきます。

(担当：気象防災事業部)



「大手町の森」に設置されたPOTEKA

※2 ABINC認証：自然と人との共生を企業活動において促進することを目的に作られた認証制度

「大手町の森」にPOTEKA設置

東京都千代田区の高層ビル群の中に、都市緑化エリアの憩いの場としてつくられた「大手町の森」にPOTEKAが設置されました。

「大手町の森」におけるPOTEKA気象観測は、一般社団法人いきもの共生事業推進協議会(ABINC)が、ABINC認証※2を受けている東京建物株式会社の協力のもと、都市部の気候に対する緑地の効果を検証するために実施しています。当該エリアでは、「大手町の森」を含めて2地点にPOTEKAが設置されており、気温や風などの気象データを収集・解析し、自然と地域社会の調和の実現に向けたフィールド調査が行われています。

明星電気は、独自のSensing & Communication技術により、自然と社会の調和を評価するための情報を提供し、よりよい環境社会の構築に貢献していきます。

(担当：気象防災事業部)



玄海町防災ポータル

佐賀県玄海町でPOTEKA稼働

佐賀県玄海町で3台のPOTEKAが稼働しています。これは既設の気象観測装置の更新にあたり採用されたものです。玄海町役場、牟形(むかた)コミュニティセンター、佐賀(ちか)第2コミュニティセンターの3地点に設置され、この観測情報が、玄海町ホームページの玄海町防災ポータルから、気象庁の台風情報や地震・津波情報、国土交通省の川の防災情報とともに、POTEKA NETの玄海町気象観測情報として閲覧できるようになっています。

明星電気は、POTEKAやPOTEKA NETによる気象観測情報の提供を通して、地域の防災情報の充実に貢献していきます。

玄海町防災ポータル <https://www.town.genkai.lg.jp/site/bousai-portal/>

(担当：気象防災事業部、九州支店)

【文中：敬称略】

Sensing & Communication

私たちは、独自の Sensing & Communication 技術により、革新的な商品・サービスを創造し、安全・安心な社会の実現に貢献していきます。